



BayCurrent



2020年2月期 決算補足資料

2020年4月14日

株式会社ベйкаレント・コンサルティング

(証券コード: 6532)

■ 人員増、高付加価値化により、前年対比で大幅増収

- 継続的な積極採用により、コンサルタント数が前期末対比で22%増加。
- 即戦力採用の強化により、新たに採用したコンサルタントの戦力化が早期化。
- 2019年3月から2020年2月において、新たにコンサルタント約420名が入社（新卒含む）。
- ノウハウ・ナレッジの蓄積と、積極的な活用による高付加価値化。

■ 高い稼働率の維持により、前年対比で大幅営業増益

- コンサルティング市場は引き続き好調。適宜実施している営業体制の強化により、案件獲得数が増加。
- 稼働率は計画を上回り、年間を通じて平均90%を上回る稼働率にて推移。

■ デジタル関連コンサルティングの案件が増加

- DXに取り組む日本企業が増加。
- デジタルに関する取組みが進展。企画構想のみならず、新たなサービスや業務改革の実行フェーズのニーズが徐々に拡大。
- 戦略立案から実行支援まで総合的に支援可能な当社の強みが発揮されている。

前年対比

売上収益	32,978	百万円	35.7%増収
営業利益	8,038	百万円	79.1%増益
税引前利益	7,976	百万円	81.9%増益
当期利益	5,912	百万円	90.5%増益
EBITDA	8,335	百万円	72.7%増益

※ EBITDA=日本基準に基づく営業利益+減価償却費+のれん償却額

2020年2月期業績概要(IFRS)

(単位:百万円)

	2019年2月期 実績	2020年2月期 実績	前年対比	2020年2月期 通期計画	計画達成率
売上収益	24,294	32,978	135.7%	32,000	103.1%
売上原価	14,168	18,671	131.8%	—	—
売上総利益	10,126	14,307	141.3%	—	—
販管費	5,631	6,269	111.3%	—	—
営業利益	4,489	8,038	179.1%	7,000	114.8%
税引前利益	4,386	7,976	181.9%	6,940	114.9%
当期利益	3,103	5,912	190.5%	4,700	125.8%
EBITDA	4,826	8,335	172.7%	7,500	111.1%

- コンサルタントの増員と育成・戦力化が順調に進捗し、前年対比30%超の大幅増収となった一方で、人員増及び一人当たり人件費の増加により売上原価も同様に大幅増となった。(計画線)
- リファラル採用の強化やSNSを活用したダイレクトリクルーティング等、採用チャネルを多様化したことにより人材採用コストを抑制。結果として、販管費の前年対比は11.3%増の水準にとどまった。
- 以上の結果、前年対比で大幅な増収増益となった。

財務状況及びキャッシュフロー(IFRS)

(単位:百万円)

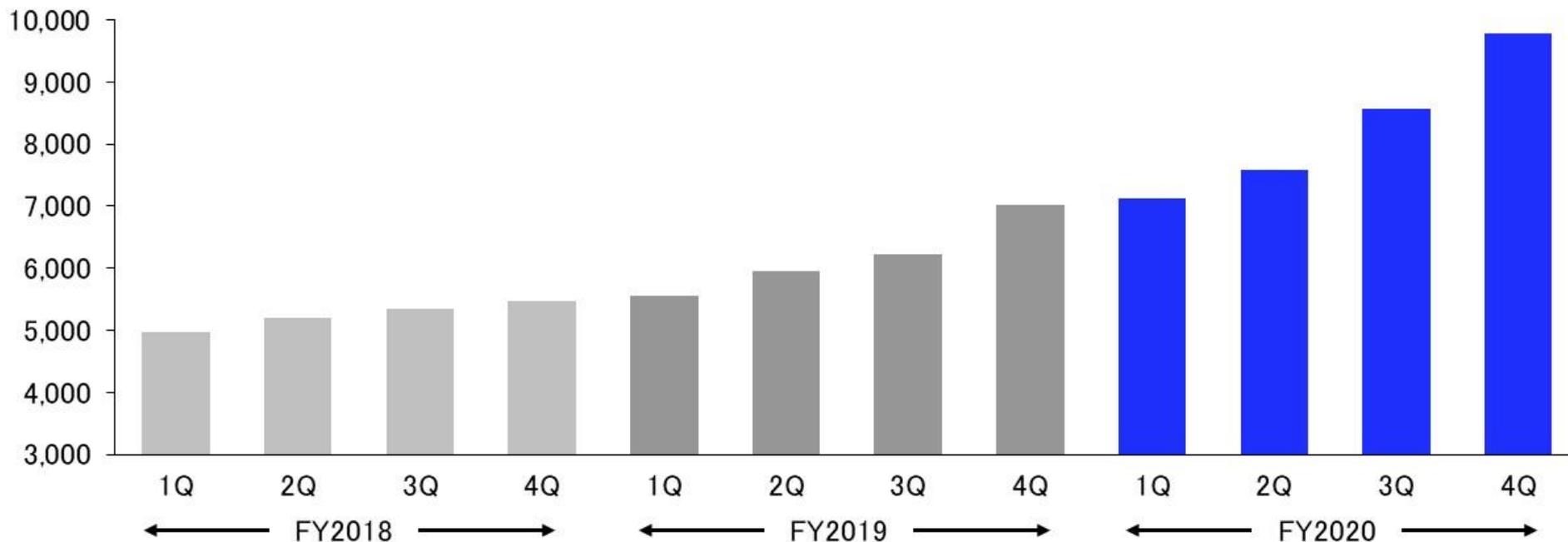
	2019年2月期末	2020年2月期末	増減額
流動資産	6,874	13,337	6,463
非流動資産	21,129	21,904	775
資産合計	28,003	35,241	7,238
流動負債	4,825	7,984	3,159
非流動負債	6,596	5,809	△787
負債合計	11,421	13,793	2,372
資本合計	16,582	21,448	4,866

	2019年2月期	2020年2月期	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	3,136	2,985	△151
フリーキャッシュフロー※	2,392	7,869	5,477
財務活動によるキャッシュフロー	△2,543	△2,826	△283
現金及び現金同等物の期末残高	2,985	8,028	5,043

※フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

(参考)サービス提供実績に基づく売上の推移

(単位:百万円)



- 上記は、受注案件に対するコンサルタントのサービス提供実績に基づき管理会計上算出した売上理論値。
当社は当該数値を、継続して安定的な成長を達成するための指標として重要視している。財務会計に基づく決算数値としての売上収益とは一部、計上タイミングが異なるため、決算数値とは差異が生じている。

2021年2月期業績予想(IFRS)

(単位:百万円)

単位:百万円	2020年2月期 実績	2021年2月期 予想	前年対比 (%)
売上収益	32,978	35,000~38,000	106~115%
営業利益	8,038	-	-
税引前利益	7,976	-	-
当期利益	5,912	-	-
EBITDA	8,335	-	-

■現時点において、当社の業績に新型コロナウイルス感染症による大きな影響は見られないが、当該感染症による世界規模での拡大に伴う影響範囲が不明であることから、合理的な業績予想の算出が困難な状況となっている。当該感染症や、それによる経済的混乱が早期に鎮静化した場合は、これまでの成長スピードをおおむね維持できる見込みだが、長期化するリスクも踏まえ、売上収益のみレンジ形式により開示する。

■2021年2月期の業績予想については、合理的に予測可能となった時点で、2021年2月期の配当金と併せて公表する予定。

配当性向は、IFRSベースにて20%～30%が目安。

但し、日本基準における分配可能額の範囲で、通期業績、財務体質の強化、内部留保の充実等を総合的に勘案したうえで、継続的な配当を実施する。

⇒2020年2月期は、1株あたり年間90円の配当を実施予定

(中間配当として30円を配当実施済みであり、期末配当として60円の配当を株主総会にて決議予定。)

⇒2021年2月期の配当予想は現時点では未定。

上記の配当方針の通り、継続的に配当を実施することを基本方針としているが、合理的な業績予想が困難であることから、現時点においては未定とする。そのため、2021年2月期の業績予想を公表する際に合わせて公表する。

本資料は、株式会社ベイカレント・コンサルティング(以下、当社)の事業および業界動向に加えて、現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明には、様々なリスクや不確実性がつきまっています。すでに知られた、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することは出来ず、結果は、将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に対する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に対するいかなる表明の記載を更新し、変更するものではありません。

本資料は、投資勧誘目的で作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料を全面的に依拠した投資判断を下すことはお控えください。

いかなる目的でも、本資料の一部または全部を、無断で転載、二次利用することをご遠慮ください。



BayCurrent